

平成30年11月14日(水) 13049号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

9月携帯電話国内出荷実績

スマホは2か月連続プラス

全体では7か月ぶりプラス転換 JEITA

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) が発表した2018年9月の携帯電話国内出荷台数は、前年同月比5.0%増の107万5,000台だった。うち、スマートフォンは同6.0%増の75万1,000台。スマホは、8月に昨年12月以来のプラスに転じた後、9月の出荷も堅調だった。フィーチャーフォンの出荷が増加に転じたことで、出荷全体では7か月ぶりのプラスとなった。単月の出荷台数は5か月連続で100万台を超えた。

8月のスマホの出荷数量が全体に占める割合は、前月から横ばいの69.1%。

国内出荷統計に参加しているのは、NECブラッ

18年9月携帯電話国内出荷実績

	台数(万台)	前年同月比(%)	18年度累計(万台)	前年同期比(%)
携帯電話	107.5	5.0	659.2	▲22.3
うちスマートフォン	75.1	6.0	456.6	▲18.9

▲はマイナス 9月のスマホ比率は69.1%

トフォームズ、NEC、京セラ、シャープ、セイコーソリューションズ、ソニーモバイルコミュニケーションズ、パナソニックモバイルコミュニケーションズ、日立国際電気、富士通。うち、スマホは、京セラ、シャープ、ソニーモバイルコミュニケーションズ、富士通。

三菱マテリアル

19年3月期中間決算

金属事業は増収減益

三菱マテリアルの2019年3月期第2四半期の連結決算は、売上高が前年同期比17.9%増の8,552億6,800万円、営業利益が24.4%減の275億9,400万円、経常利益が16.4%減の330億6,700万円、四半期純利益が26.3%減の148億4,900万円だった。

(単位:億円)

売上高	8,552.68
	17.5
営業利益	275.94
	▲24.4
経常利益	330.67
	▲16.4
四半期純利益	148.49
	▲26.3

下段は前年同期比(%)

▲はマイナス

金属事業の中間期は、売上高が前年同期比28.4%増の4,808億円。銅地金は、期間中に直島精錬所の定期炉修がなかったことから生産量が増加、また銅価格の上昇も寄与した。営業利益は17.6%減の89億円。製錬コストの上昇が利益押し下げ要因となった。

アルミ事業は、売上高が前年同期比0.7%減の770億円。飲料用アルミ缶では、通常缶の販売が増加したものの、ボトル缶の販売減が相殺する形となった。アルミ圧延・加工品は、自動車向け熱交換材の販売が増加。一方、エネルギーコストの上昇が響き、営業利益は67.1%減の13億円だった。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



2019年3月期第2四半期連結決算

古河電気工業

古河電工の19年3月期第2四半期の連結決算は、売上高が前年同期比6.5%増加、一方、各利益項目は減益となった。ワイヤーハーネスや銅箔は堅調に推移。一方、インフラでは、償却費や研究開発費の増加で減益だった。

(単位:億円)

売上高	4,874.37
	6.5
営業利益	175.52
	▲19.3
経常利益	159.00
	▲28.1
四半期純利益	98.40
	▲54.6

下段は前年同期比(%)

▲はマイナス

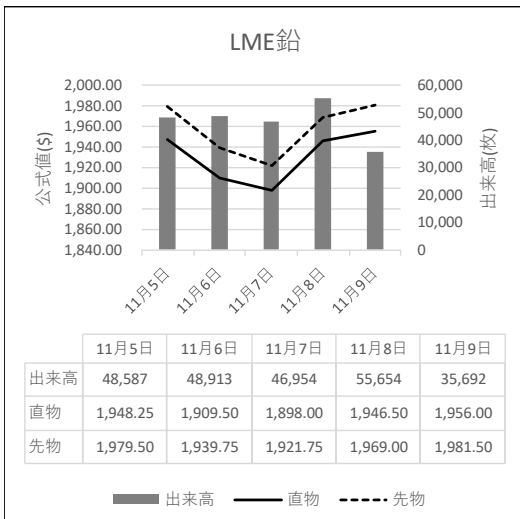


メキシコ：Torex Gold 社は
メキシコ鉱山のフル操業が間近

2018年11月8日付け地元紙によると、加Torex Gold Resources社(本社：トロント)の2018年第3四半期の決算は、同社がメキシコに保有するEl Limón-Guajes金・銀鉱山の操業結果を受け、前年同期の1.6mUS\$の損失から23.9mUS\$の純利益を計上する結果となった。なお、前期は12.3mUS\$の純損失を計上していた。

El Limón-Guajes金・銀鉱山の2018年第3四半期の金

LME公式値週間推移 11月5日～11月9日(現地)



生産量は、粗鉱品位の向上と処理量増加により前年同期の2.09tから3.16tに増加、全維持コスト(AISC)は1,035US\$/ozから967US\$/ozへ減少した。また、プラントの平均粗鉱処理量は、前年同期の12,522t/dから12,717t/dに増加し、稼働率は91%となった。10月は同率が95%に増加しており、本年末には100%に近づくと推定されている。また、同鉱山の露天掘り事業を補完する坑内掘り事業の生産目標も達成した。また、同鉱山近郊に位置するMedia Luna金プロジェクトでは、2019年月中旬にボーリング調査を開始するため、FS調査を進行中であり、同プロジェクトのコストを大幅に削減するため、トンネルの上部に設置されたモノレール輸送と従来の鉱山設備を組み合わせた採掘システムのテストを進めており、El Limón-Guajes金・銀鉱山深部の鉱床において、年末にテストを行う計画である。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHSITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

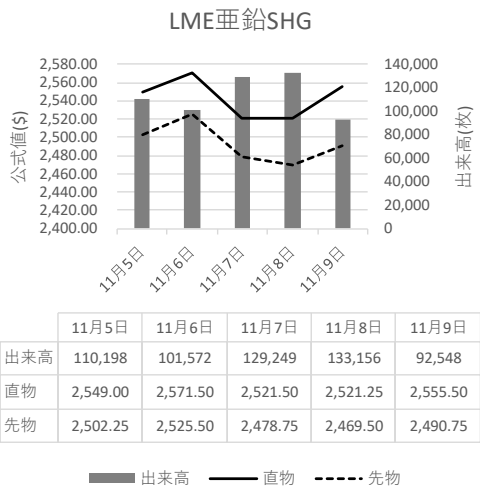
本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005


海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

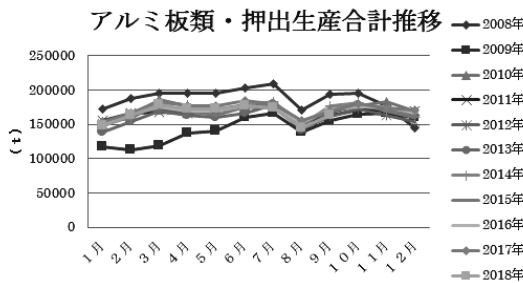


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

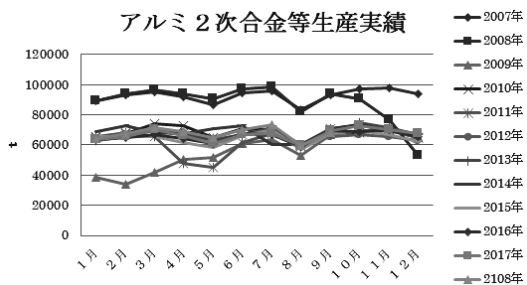


10月のアルミ概況及び11月の見通し (3)



出典 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績は前年比-1.4%の6万8,494 tであった。



出典 日本アルミニウム合金協会

国内概況まとめ

【自動車】

8月の自動車生産台数は前年比-0.3%の69万3,977台であった。輸出は39万2,020台で前年同月比-7.5%。

【販売】

10月の国内自動車販売台数(軽を除く)は26万1,554台で前年比+13%。3カ月ぶりプラス。

うち乗用車+13.3%、貨物+11.2%、バス-0.3%。

【住宅】

平成30年9月の住宅着工戸数は81,903戸で、前年同月比で1.5%減となった。また、季節調整済年率換算値では94.3万戸(前月比1.6%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で先月の増加から再び減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は減、分譲住宅は増となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比-1.4%、6万8,494 t、12カ月ぶりマイナス。

出荷は-2.8%、6万8,174 t、12カ月ぶりマイナス。

【アルミ圧延・押出品生産数】

板類・押出生産合計は前年比-4.2%、16万3,192 t、9カ月連続マイナス。

【輸出】

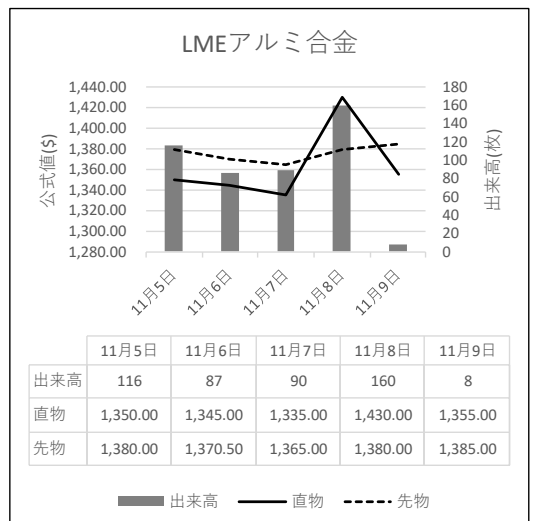
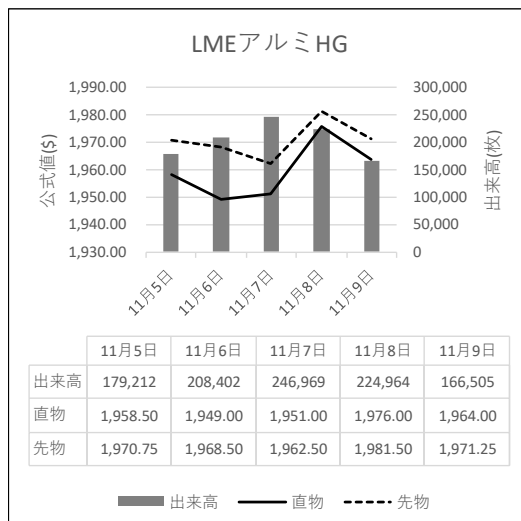
アルミ新地金が前年比-8.5%の151 t。二次合金が-9%の1,640 t。スクラップが-15.4%の7,458 t。アルミ缶が-21.3%の6,286 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比-11.6%の10万6,115 t。二次合金が-11.6%の8万9,683 t。スクラップが+192%の1,461 t。合金スクラップが-14%の2,672 t。

【次号へ続く】

LME公式値週間推移 11月5日~11月9日(現地)





銅建値1万円引き下げ73万円

11月の月内建値平均は73万5,000円

JX金属は13日、電気銅建値を1万円引き下げ73万円と発表し、同日から実施した。2018年11月の月内建値平均は73万5,000円。

13日入電のLME銅相場セツルメントは6,083.50ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは114.66円。この値で換算した採算価格は69万7,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万2,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□6月	780(1)810(5)840(7)810(19)790(22)780(27)	平均810.0
□7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□9月	710(3)700(6)710(13)720(19)750(25)	平均717.7
□10月	750(1)770(4)750(9)740(16)730(19)740(24)	平均744.7
□11月	720(1)760(5)740(8)730(13)	平均735.0

黄銅削粉4円引き
下げ537円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は13日、黄銅削粉の買値を4円引き下げ537円とすると発表した。月内4回目の改定。

故銅市況

13日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前週末の6,088.00ドルより4.50ドル安の6,083.50ドル。この日の直物後場買値は、前週末の6,089.00ドルより25.00ドル安の6,064.00ドル。カーブ取引は前週末の6,055.00ドル~6,056.00ドルより6.00ドル安の6,049.00ドル~6,050.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(11月限)は、前週末の268.65セントより0.85セント安の267.80セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(11月限)は、前週末の4万9,340元より310元安の4万9,030元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.94円より0.28円の円高ドル安の1ドル=114.66円。NYカーブLME先物比は0.50ドル安。13日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,083.50ドル。この値と13日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値

は、前日の73万9,000円より2,000円安の73万7,000円。この日、電気銅建値は73万円に引き下げられた。

為替動向

13日午前の東京外国為替市場で、円相場は反発した。午前9時時点の気配値は、1ドル=113.66円~113.69円、前日の17時時点比0.50円の円高・ドル安。

12日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前週9日の同時刻比横ばいの1ドル=113.70円~113.80円だった。

ニューヨーク外国為替市場は、ベテランズ・デーの振替休日のため休場。

欧米株式市場が下落。中でも、ニューヨーク株式市場でダウ工業株30種平均は、下げ幅が600ポイントを超えた。13日の東京株式市場でも、日経平均株価が大幅安でスタート。ニューヨーク外為市場が休場で取引が薄くなる中、東京外為市場では、株安を受けた投資家のリスクオフ姿勢が強まり、低リスク通貨とされる円を買う動きが先行した。ただ、ドルの強い金利先高観が支援材料になっており、ドルの下値は限られるのではないかとの指摘もあった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が603~608、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは584~589、並銅は523~528、込銅(高品位=約97%)は483、セバは531~536。コーペルは要り用筋で462、それ以外は454ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋417、それ以外400~425どころの値頃。並青銅鋳物削粉は454~459どころ。

小口市相中相場(1トン前後)では、ピカ線が586~591、上銅新くずが573~593、普通上銅が540~550、2号銅線が546~556、並銅が511~512、込銅(90-93%)が470~437、下銅が272~322、セバが498~508、コーペルが454~494、黄銅棒地が450~455、黄銅削粉が358~405、黄銅ラジが395~403、交叉ラジが330~341、黄銅銅鋳物が366~373、送りが189~204、上青銅鋳物が464~480、並青銅鋳物が456~469、上青銅鋳物削粉が461~480、並青銅鋳物削粉が454~458どころ。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2



LME銅は小幅で続落 3営業日でおおよそ2%安
カーブ取引も小幅続落 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落
LME非鉄相場は総じて軟調 アルミは2営業日の続落でおおよそ2%安
鉛は反落およそ2%安 錫直物は公式値ベースで小幅ながら続伸

13日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前週末の6,087.50ドルより4.25ドル安の6,083.25ドル。3か月物も、前週末の6,069.50ドルより8.00ドル安の6,061.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前週末の17万1,000トンより約2,000トン減のおおよそ16万9,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は、前週末の268.65セントより0.85セント安の267.80セント。カーブ取引は、前週末の6,055.00ドル～6,056.00ドルより6.00ドル安の6,049.00ドル～6,050.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（11月限）は、前週末の4万9,340元より310元安の4万9,030元。

錫はまぢまぢ

LME錫相場の直物は、前週末の1万9,300.00ドルより5.00ドル高の1万9,305.00ドル。3か月物は、前週末の1万9,265.00ドルより2.50ドル安の1万9,262.50ドル。

鉛は反落

LME鉛相場の直物は、前週末の1,956.00ドルより46.25ドル安の1,909.75ドル。3か月物も、前週末の1,981.50ドルより50.50ドル安の1,931.00ドル。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の直物は、前週末の2,555.50ドルより9.00ドル安の2,546.50ドル。3か月物も、前週末の2,490.75ドルより12.50ドル安の2,478.25ドル。

アルミは続落 アルミ合金はまぢまぢ 北米特殊アルミ合金は続伸

LMEアルミ相場の直物は、前週末の1,964.00ドルより30.50ドル安の1,933.50ドル。3か月物も、前週末の1,971.25ドルより29.00ドル安の1,942.25ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前週末の1,355.00ドルより5.00ドル高の1,360.00ドル。3か月物は、前週末の1,385.00ドルより5.00ドル安の1,380.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前週末の1,386.50ドルより8.50ドル高の1,395.00ドル。3か月物も、前週末の1,387.50ドルより15.00ドル高の1,402.50ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、ほぼ横ばいおおよそ105万6,000トン。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前週末の11,465.00ドルより180.00ドル安の11,285.00ドル。3か月物も、前週末の11,565.00ドルより187.50ドル安の11,377.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(11月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(11月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章

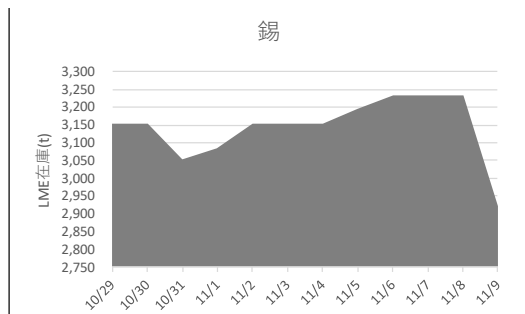
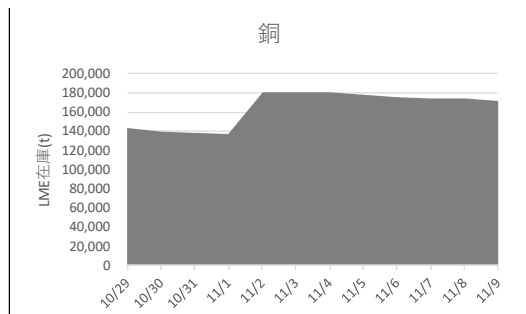
〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公式値 (単位：ドル) / 11月12日 (現地)

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,083.25	19,305.00	1,909.75	2,546.50	1,933.50	1,360.00	1,395.00	11,285.00
	前営業日比	▲ 4.25	5.00	▲ 46.25	▲ 9.00	▲ 30.50	5.00	8.50	▲ 180.00
先物	公式値	6,061.50	19,262.50	1,931.00	2,478.25	1,942.25	1,380.00	1,402.50	11,377.50
	前営業日比	▲ 8.00	▲ 2.50	▲ 50.50	▲ 12.50	▲ 29.00	▲ 5.00	15.00	▲ 187.50



LME認定倉庫在庫推移 10月29日～11月9日 (現地)



海外非鉄金属相場

(11月13日 入電・現地 11月12日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

銅 A G
現物 6083.0 6083.5 6064.0 6066.0
前日比 ▲ 4.5 ▲ 25.0
先物 6060.0 6063.0 6042.0 6044.0
出来高 104,954

錫 H G
現物 19280.0 19330.0 19260.0 19310.0
前日比 20.0 ▲ 5.0
先物 19250.0 19275.0 19225.0 19275.0
出来高 5,825

鉛
現物 1909.5 1910.0 1914.5 1916.5
前日比 ▲ 47.0 ▲ 38.0
先物 1930.0 1932.0 1934.0 1936.0
出来高 40,485

亜鉛 S H G
現物 2545.0 2548.0 2564.0 2566.0
前日比 ▲ 8.0 ▲ 22.0
先物 2478.0 2478.5 2500.0 2502.0
出来高 93,115

アルミ H G
現物 1933.0 1934.0 1932.0 1934.0
前日比 ▲ 30.5 ▲ 21.5
先物 1942.0 1942.5 1943.0 1945.0
出来高 167,602

アルミ合金
現物 1350.0 1370.0 1347.5 1367.5
前日比 10.0 ▲ 5.5
先物 1370.0 1390.0 1370.0 1390.0
出来高 84

北米特殊アルミ合金
現物 1390.0 1400.0 1390.5 1400.5
前日比 13.0 10.5
出来高 482

ニッケル
現物 11280.0 11290.0 11350.0 11375.0
前日比 ▲ 180.0 ▲ 10.0
先物 11375.0 11380.0 11425.0 11450.0
出来高 72,114

NY コメックス相場

出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント

金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with 6 columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム
11月限 267.80 1201.3 1397.4 841.7 1102.20
12月限 267.65 1203.5 1401.1 843.5 1085.60
1月限 268.45 1207.3 1405.4 845.3 1083.40
2月限 269.15 1209.4 - - -
3月限 269.45 - 1413.4 - 1080.90
前日比 ▲ 0.85 ▲ 5.1 ▲ 12.9 ▲ 10.7 ▲ 11.90
出来高 103,441 222,135 79,734 - 4,392

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with 11 columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
T T S 6084 19330 1910 2548 1934 11290 268 49030 13835 21850 18730
114.66 6122 2416 256 332 233 1495 721 819 231 365 313
-0.28 + 5384 - 4 - 6 - 1 - 4 - 23 - 3 - 7 + 0 + 1 - 1

フリー・マーケット

米国生産者価格

銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)H H社 1406.5

NY相場

取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

ロンドン相場(ドル)

金(オンス) 1205.6
アンチモン99.6%(トン) 8300 - 8400
ピスマス99.99%(ポンド) 4.10 - 4.50
カドミウム99.99%(ポンド) 1.20 - 1.30
インジウム99.97%(キロ) 195 - 245
セレンウム99.5%(ポンド) 14.00 - 15.00
スポンジチタン99.5%(キロ) 6.00 - 7.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.20
コバルトカソード99.8%(ポンド) 33.00 - 34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2600 - 2675
タングステンAPT(MTU単位) 280 - 290
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 85 - 90

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table with 3 columns: (12日), (13日)
相場 80.34 80.93
出来高 42 28
ドル建て価格 19200 19290
O Dレート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.1843 4.1956
採算円/キロ 2461 2473
US\$採算円/キロ 2211 2216

L M E 在庫(トン)

Table with 4 columns: 在庫, 増減
銅 169,325 ▲ 1,725
錫 2,960 40
鉛 111,325 ▲ 250
亜鉛 132,325 ▲ 700
アルミ 1,056,450 900
アルミ合金 12,920 ▲ 20
北米特殊A L 合金 141,140 ▲ 360
ニッケル 216,612 ▲ 222

コメックス銅在庫(トン)

150,765 ▲ 1,855
上海在庫(トン) 銅 142,234 ▲ 5,308
(11/9 現在) アルミ 780,808 ▲ 20,897
亜鉛 37,378 ▲ 7,146
鉛 9,434 1,390

NYカーブ

銅 6041.00 ~ 6042.00 3.00
アルミ 1936.00 ~ 1937.00 ▲ 18.00

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

Table with 5 columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛
11月限 49030 13835 21850 18730
12月限 49110 13895 21485 18505
前日比 ▲ 310 ▲ 35 80 ▲ 65
出来高 27710 13530 8730 630

非鉄金属製品相場

(11月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆960	◆990	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆970	◆1000	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆1130	◆1190	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆1170	◆1180	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆830	◆870	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆930	◆990	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅糸1.5×100	◆940	◆990	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◆1020	◆1050	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆940	◆990	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆1220	◆1230	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆800	◆820	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆825	◆840	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆980	◆1030	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆1375	◆1330	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆1325	◆1350	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	◆650	◆690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	◆680	◆720			
四角棒	◆710	◆750	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	◆690	◆730	白金(グラム)	◆3418	
ネーパル	◆790	◆830	パラジウム(グラム)	◆4411	
高力	◆790	◆830	金(グラム)	◆4794	
黄銅線6ミリ	◆1050	◆1100	銀(キログラム)	◆58320	
黄銅平角線ロール仕上	◆1240	◆1305			
黄銅糸1.5×100	◆795	◆845	レアメタル輸入価格	9月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	236	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2218	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル	52046	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	283	
洋白板一般用1.0ミリ	2690	2670	コバルト	9670	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2860	インジウム	30619	
減摩合金	11月1日改定		銅合金地金	11月1日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2680		BC 1種	800	—
2種	2610		2種	975	—
3種	2540		3種	1020	—
4種	2240		6種	855	—
5種	2160		7種	890	—
7種	895		YBSC 3種	705	—
8種	810		LBC 3種	985	—
9種	720		PBC 2種	1040	—

合金鉄	9月輸入単価 (CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	135
〃 その他	271.5
フェロシリコン55%以上	170
フェロクロム4%以上炭素含有	153.9
フェロモリブデン純分60%以上	2028
フェロバナジウム	6649
フェロニッケル33%未満	427.4
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

